

台湾ドル相場

予想レンジ: USD/TWD 30.70 ~ 31.70
TWD/JPY 4.83 ~ 5.05

東アジア資金部台北室 Melody Tung (メロディー・トン)

■ 先月の為替相場

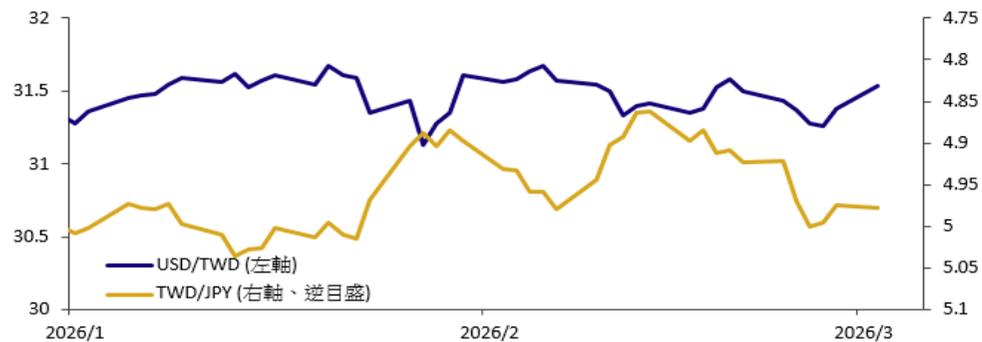
2月のUSD/TWDは31.699まで上昇後、月末にかけてほぼ全戻し。

月初、USD/TWD は 31.520 でスタート。トランプ大統領によるウォラー氏 (Christopher Waller) の FRB 議長指名を受け、市場が高金利長期化を織り込み、米国債利回り上昇とドル買い優勢の展開。米株・台湾株の軟調、金・銀など貴金属の急落によるリスク回避姿勢の強まりも重なり、USD/TWD は 2 月 6 日に 9 か月ぶりの高値 31.699 を示現。31.60 近辺では輸出企業のドル売りが散見されたものの、ドル高基調とリスク選好後退を背景とした 31.50~31.60 のレンジ推移。

2月中旬、2月9日発表の1月貿易統計では輸出額が657.7億ドルと過去最高を更新し、前年比+69.9%と市場予想を大幅に上回る結果。輸出の強さが台湾ドルのファンダメンタルズを押し上げ、USD/TWD は反落基調へ転換。リスク選好の回復、台湾株の続伸、外資の買い越しと資金流入を背景に、USD/TWD は 31.400 を割り込み、月間安値 31.378 を記録。その後は中央銀行の流動性調整と保険会社のドル買いを受け、31.50 近辺での小幅レンジ推移。

2月下旬(2/16~2/20)は台湾の春節休市。米国株高を受け、連休明けの台湾株式市場も堅調。月末の輸出企業によるドル売りもあり、2月末(2月25日)は31.30近辺でクローズ。

■ 為替の動き



■ 先月の注目イベント

発表日	イベント	期間	予想	結果	前回
2/2	製造業PMI指数	1月	-	51.7	50.9
2/5	CPI(前年比)	1月	1.20%	0.69%	1.31%
2/9	輸出(前年比)	1月	51.9%	69.9%	43.4%
2/13	GDP Revised	Q4		12.7%	12.7%
2/25	失業率	1月			3.35%

■ 今月の見通し

3月のUSD/TWDは高値圏から離れ、31台前半を中心としたレンジ相場を想定。

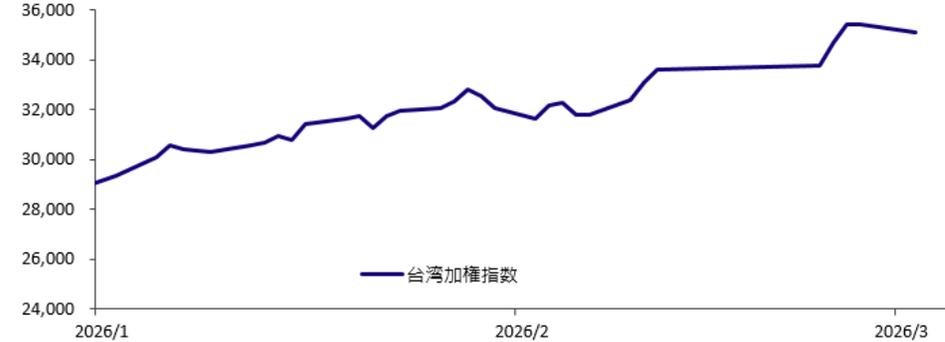
2月初旬、トランプ大統領によるウォラー氏 (Christopher Waller) の FRB 議長指名を受け、USD/TWD は 9 か月ぶりの高値 31.699 を示現。FRB の利下げ時期が依然として不透明で、ドル高の勢いは一服した。さらに、台湾の春節期間中に米国最高裁がトランプ政権による関税措置を違法と判断したことで、多額の関税返還リスクが浮上し、米国の財政および通商政策に対する市場の不透明感が強まり、ドルの先行きに対する懸念が高まっている。

内部環境では、AI・半導体関連需要による輸出の底堅さ、台湾株の強含み、外資フローが台湾ドルの下支え要因。ただし、2025年第4四半期以降、株価と為替の連動性が低下し、外資フローの変動が大きい点は注意材料。

また、2026年1月からの保険業会計基準変更に伴うヘッジ需要減少が、USD/TWD と台湾ドル金利に影響を及ぼす可能性。

総じて、USD/TWD は2025年12月以降のボックスレンジを継続。中心レンジは 31.0 ~ 31.6 の推移を想定。

■ 株価指数の動き



■ 今月の注目イベント

発表日	イベント	期間	予想
3/2	製造業PMI指数	2月	-
3/6	CPI(前年比)	2月	-
3/9	輸出(前年比)	2月	-
3/19	台湾中銀金融政策決定会合		-
3/20	輸出受注(前年比)	2月	-
3/24	鉱工業生産(前年比)	2月	-
3/26	失業率	2月	-